

「小学校英語、必修は不要」 伊吹文科相 2006年9月28日

新学習指導要領の焦点の一つになっている小学校での英語必修化について、9月27日伊吹文部科学相は、「私は必修化する必要は全くないと思う。美しい日本語ができないのに、外国の言葉をやったってダメ」と話し、否定的な見解を示した。小学校英語をめぐるのは、文科相の諮問機関である中央教育審議会の外国語専門部会が今年3月、5年生から週1時間程度の必修化を提言、中教審で議論が進められており、来年度の概算要求でも5・6年用英語ノートや指導助手予算を既でに計上している。

文科省が今年2月に全国の公立小計約2万2000校を対象に行った調査によると、93・6%の公立小で英語教育が行われ、小1で実施している学校も75・1%に上っている。しかし、ほとんどの場合、「総合的な学習の時間」に実施される英語教育では、頻度やその内容は各校によって大きなバラツキがある。